

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名		ひまわり児童ファーム どりーむ					令和7年 10月
		チェック項目	はい	いいえ	わからない	工夫していると思う点・課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6			・利用所が多い時などは少し狭いと思うが、走り回れるスペースもあり、目が行き届く範囲かと思う	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6			・職員は利用定員に対して出来るだけ多く配置している ・3:1or2:1対応なので十分である	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2	1	・玄関は段差がある為バリアフリーではない ・可能な限りバリアフリー化を行っている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6			・庭にブランコ、ターザンロープなどを設置して積極的に動けるようにしている ・勉強部屋もあり、掃除、拭き掃除など毎日している	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1		・勉強部屋はあるが個別の部屋はない ・個別の部屋はないが、個別に区切る事はできる	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		2	・その都度共有し、行けんを出し合えていると思う	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		2	・個人懇談を行ったり、各家庭への送迎時にお聞きしている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		1	・ミーティング等で日々の支援を共有している ・お送り後に振り返りをしている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	1	4		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		2		
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		1	・個別支援計画がいつでも確認できる	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		1		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		1	・日々話し合いやミーティングをしている	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		2		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		2		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		2		

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		1	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		2	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		2	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		1	・朝、リーダーがその日の流れ当を説明し共有する
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	1	・必ずではないが報告などある場合は行っている ・お送り後話し合いをしている
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		1	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		2	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	3	1	2	・地域交流の機会の提供はあまり行っていない
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	1	1	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	1	2	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3		3	・学校のお迎え時、引継ぎ等で連絡を取るようになっている
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	1	1	・お迎え時にその日の事や気になる事を聞き共有している
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2		4	・今年度は保育所の職員と交流がはかれた
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3		3	・相談支援員を通じて、情報共有に努めている
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	2	3	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	2	3	・長期休暇の際や、イベント屋台村で交流している
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	1	2	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			・お送りの際お伝えし共有している ・連絡帳で伝え合っている
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	2	3	・ペアレントトレーニングは今後研修に参加していきたいと思っている
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		2		

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		1	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		1	・個人懇談時に説明を行い計画の作成に努めている
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		1	・ご家族との面談を行っている
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	3	2	・地域で行われている研修や「子ども食堂」を通じて、交流する機会を設けている
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			・職員全員共有している
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6			・年に3回通信を発行することや、日々ブログを更新している
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			・名前、写真等気を付けている
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		1	・資格支援等のツールを理解している
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1	1	・イベント屋台村を行っている
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		2	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		1	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6			・薬剤情報提供書をいただき、てんかん時の対応、かかりつけ医等を確認し、すぐ見れるようにしている
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1		・ご家族様に確認しアレルギーの物は提供しない
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1	1	・鋭利な物を扱う時や、熱い物がある時等、指示があり留意している
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			・災害時の対応等、懇談時に保護者に周知している
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			インシデント、アクシデントの報告があり共有している
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	2	1	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		2	・そのような子どもがいないので、どのような場合に拘束するのか、基準が不明である	